

2020年1月31日

上場会社名 京成電鉄株式会社
 コード番号 9009 URL <http://www.keisei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長 (氏名) 湯本 康人
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 047-712-7100

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	208,363	7.1	28,360	5.0	43,897	2.6	33,581	2.3
2019年3月期第3四半期	194,558	3.9	27,009	2.4	42,766	4.1	32,813	6.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 35,331百万円 (4.2%) 2019年3月期第3四半期 33,901百万円 (1.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	198.49	
2019年3月期第3四半期	193.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	899,942	435,490	46.5
2019年3月期	853,025	402,901	45.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 418,555百万円 2019年3月期 389,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.50		9.50	17.00
2020年3月期		8.50			
2020年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,400	9.1	32,300	2.2	48,900	3.6	37,700	2.4	222.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	172,411,185 株	2019年3月期	172,411,185 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,427,924 株	2019年3月期	3,141,685 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	169,183,622 株	2019年3月期3Q	169,269,572 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報)	P8
3. 補足情報	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる消費者マインドの動向に懸念はあるものの、個人消費は持ち直しつつあることに加え、企業収益は高い水準で推移し、雇用情勢が改善するなど緩やかに回復いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画E4プランの基本方針である「グループ経営強化による収益拡大の確実な実現」、「安全かつ安心なサービスの提供」、「社会的要請に対応した経営推進体制の確立」に基づき諸施策を推進してまいりました。また、当社は2019年6月30日に創立110周年を迎え、お客様等への感謝の気持ちを込め各種記念事業を行いました。なお、2019年10月8日付で関東鉄道株式会社を連結子会社とし、グループ経営体制の強化に努めております。

その結果、営業収益は2,083億6千3百万円（前年同期比7.1%増）となり、営業利益は283億6千万円（前年同期比5.0%増）となりました。経常利益は438億9千7百万円（前年同期比2.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は335億8千1百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、高架橋の耐震補強工事等を継続して実施しているほか、成田空港駅へのホームドア設置工事を進めました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、仮下り線の線路敷設工事を開始いたしました。

営業面では、空港アクセスの利便性向上のため10月にダイヤ改正を行い、スカイライナーの運行本数を約1.4倍に増やし、運行時間帯を拡大いたしました。併せて、快適な車内環境を提供する設備等を取り入れた新形式車両3100形を導入いたしました。また、認知度向上を目的として、人気タレントを起用したテレビCM等による広告宣伝を展開いたしました。さらに、スカイライナーご利用者3,500万人達成を記念して一編成にヘッドマークを掲出したほか、沖縄都市モノレール株式会社的那覇空港駅内にスカイライナー割引チケット発行機を設置し、一層の利用促進を図りました。このほか、海神駅において駅開業100周年を記念し、船橋市や地元自治会等と連携し、スタンプラリー等の記念企画を実施するなど、旅客誘致に努めました。

バス事業では、一般乗合バス路線において、利便性向上を図るためのダイヤ改正等を実施いたしました。高速バス路線においては、東京ディズニーリゾートを起点として、松戸駅、吉祥寺駅、武蔵小杉駅・二子玉川駅を結ぶ路線を新設いたしました。また、千葉～長野線の増便や、成田空港を出発する一部路線において最終出発時刻を延長するなど、お客様の利便性向上を図りました。

タクシー事業では、帝都三信交通株式会社及び帝都三信大森交通株式会社の営業を9月より開始し、規模拡大により効率的な運行を強化いたしました。また、訪日外国人の方にも駅からスムーズにご利用いただけるよう、京成上野駅の公共タクシー乗り場をリニューアルいたしました。

以上の結果、営業収益は1,230億2百万円（前年同期比6.3%増）となりましたが、営業利益は202億9千5百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

<流通業>

百貨店業・ストア業では、各種イベントや売り場の一部リニューアル等を実施し、販売の強化に努めました。また、収益拡大に向け、「ファミリーマート道野辺中央店」の営業権を取得したほか、リブレ京成三咲店を「業務スーパー三咲店」・「ドラッグストアマツモトキヨシ三咲店」にリニューアルいたしました。

以上の結果、営業収益は503億8千4百万円（前年同期比0.5%減）となりましたが、営業利益は2億5千万円（前年同期比116.3%増）となりました。

<不動産業>

不動産販売業では、今年度の中高層住宅の引き渡しを計画通り全戸完了しております。また、中高層住宅予定地として、葛飾区立石の土地を取得いたしました。

不動産賃貸業では、中央区日本橋小網町のビジネスホテル及び葛飾区青戸の賃貸住宅等が稼働したほか、江戸川区北小岩の賃貸住宅等を取得いたしました。また、墨田区江東橋において、2021年度のオープンを目指し、「京成リッチモンドホテル」2号店の工事を進めているほか、墨田区押上において「京成リッチモンドホテル」3号店の計画を決定いたしました。

以上の結果、営業収益は191億4千2百万円（前年同期比16.6%増）となり、営業利益は67億7千3百万円（前年同期比28.6%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

ホテル業では、京成ホテルミラマーレ、水戸京成ホテル及び京成リッチモンドホテル東京門前仲町において、各種宿泊プランを企画するなど、引き続き新規顧客の獲得に努めました。

旅行業では、京成トラベルサービス創業60周年を記念した特別ツアーや「スカイライナーミステリーツアー」等、多様な旅行商品の企画・催行により、営業力の強化を図りました。

また、筑波山ロープウェーやケーブルカー等ではQRコード決済を導入いたしました。

以上の結果、営業収益は76億7千6百万円（前年同期比13.3%増）となりましたが、営業利益は1億2千8百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事のほか、当社グループ外から受注している各種工事を実施いたしました。

以上の結果、完成工事高が増加したため、営業収益は170億6千2百万円（前年同期比20.4%増）となり、営業利益は8億9百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比469億1千6百万円（5.5%）増の8,999億4千2百万円となりました。これは、関東鉄道株式会社の子会社化等により「有形固定資産」が増加したことによるものです。

負債合計は、前期末比143億2千7百万円（3.2%）増の4,644億5千2百万円となりました。これは、借入金等の有利子負債が増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比325億8千8百万円（8.1%）増の4,354億9千万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、2019年10月31日に発表しました数値と変更はありません。

※業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,214	30,617
受取手形及び売掛金	22,325	22,451
分譲土地建物	7,564	6,638
商品	2,135	2,531
仕掛品	647	1,847
原材料及び貯蔵品	2,751	3,137
その他	11,822	10,973
貸倒引当金	△33	△30
流動資産合計	72,428	78,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	279,404	283,382
機械装置及び運搬具(純額)	21,786	22,606
土地	164,018	178,153
リース資産(純額)	33,072	39,008
建設仮勘定	31,145	35,999
その他(純額)	2,657	2,775
有形固定資産合計	532,084	561,924
無形固定資産		
リース資産	1,368	1,254
その他	9,434	9,794
無形固定資産合計	10,802	11,048
投資その他の資産		
投資有価証券	219,354	231,266
長期貸付金	579	453
繰延税金資産	13,763	12,669
その他	3,871	4,310
貸倒引当金	△131	△154
投資その他の資産合計	237,437	248,545
固定資産合計	780,324	821,519
繰延資産	272	256
資産合計	853,025	899,942

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,864	17,868
短期借入金	63,474	56,558
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
リース債務	5,043	6,326
未払法人税等	5,548	3,321
前受金	20,727	25,061
賞与引当金	3,038	1,679
役員賞与引当金	37	26
その他	35,157	50,042
流動負債合計	163,891	170,883
固定負債		
社債	60,000	50,450
長期借入金	108,289	118,762
鉄道・運輸機構長期未払金	49,470	47,979
リース債務	21,956	27,309
繰延税金負債	1,538	2,120
役員退職慰労引当金	318	336
退職給付に係る負債	33,218	35,380
その他	11,440	11,229
固定負債合計	286,233	293,568
負債合計	450,124	464,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,548	28,623
利益剰余金	322,842	354,025
自己株式	△2,050	△4,294
株主資本合計	386,144	415,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,730	4,651
繰延ヘッジ損益	—	1
退職給付に係る調整累計額	△1,410	△1,255
その他の包括利益累計額合計	3,319	3,396
非支配株主持分	13,436	16,935
純資産合計	402,901	435,490
負債純資産合計	853,025	899,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業収益	194,558	208,363
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	140,592	150,848
販売費及び一般管理費	26,956	29,155
営業費合計	167,548	180,003
営業利益	27,009	28,360
営業外収益		
受取利息	108	108
受取配当金	262	404
持分法による投資利益	16,743	16,284
雑収入	949	983
営業外収益合計	18,063	17,780
営業外費用		
支払利息	1,870	1,757
雑支出	437	484
営業外費用合計	2,307	2,242
経常利益	42,766	43,897
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,427
工事負担金等受入額	721	199
投資有価証券売却益	400	—
その他	43	118
特別利益合計	1,166	1,746
特別損失		
固定資産除却損	279	380
段階取得に係る差損	—	362
固定資産圧縮損	672	175
その他	81	412
特別損失合計	1,034	1,330
税金等調整前四半期純利益	42,897	44,313
法人税、住民税及び事業税	7,973	8,057
法人税等調整額	720	1,076
法人税等合計	8,693	9,133
四半期純利益	34,204	35,180
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,391	1,598
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,813	33,581

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	34,204	35,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△170	277
退職給付に係る調整額	23	134
持分法適用会社に対する持分相当額	△156	△260
その他の包括利益合計	△303	151
四半期包括利益	33,901	35,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,514	33,723
非支配株主に係る四半期包括利益	1,386	1,607

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	114,881	50,253	12,453	4,887	8,527	3,555	194,558	—	194,558
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	780	389	3,962	1,889	5,642	3,246	15,911	△15,911	—
計	115,661	50,642	16,416	6,776	14,169	6,802	210,469	△15,911	194,558
セグメント利益	20,398	115	5,268	176	594	445	26,997	12	27,009

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	122,500	49,977	14,666	5,788	11,773	3,656	208,363	—	208,363
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	501	406	4,476	1,888	5,288	3,488	16,049	△16,049	—
計	123,002	50,384	19,142	7,676	17,062	7,144	224,413	△16,049	208,363
セグメント利益	20,295	250	6,773	128	809	335	28,593	△233	28,360

(注)1 セグメント利益の調整額は、子会社株式の取得関連費用、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表 (単体)

(単位：千人、百万円)

区 分	当第3四半期 累計期間	前年同期	増 減	増減率 (%)
輸 送 人 員				
定 期	133,902	130,341	3,561	2.7
定 期 外	92,400	90,547	1,853	2.0
計	226,302	220,888	5,414	2.5
(うち 成田空港発着)	17,143	16,130	1,013	6.3
(うち 有料特急)	4,887	4,534	353	7.8
旅 客 運 輸 収 入				
定 期	16,561	16,185	376	2.3
定 期 外	34,255	32,870	1,385	4.2
計	50,817	49,055	1,761	3.6
(うち 成田空港発着)	16,945	15,721	1,223	7.8
(うち 有料特急)	4,696	4,327	368	8.5

(注) 輸送人員：千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入：百万円未満を切り捨てて表示しております。